

2022 年度女子審判員育成研修会報告

(一社) 中国サッカー協会審判委員会
女子部長 森近 和代

日 程 2023 年 3 月 4 日(土)~5 日(日)
場 所 ツネイシフィールド 広島県福山市
審判員 脇谷咲花・遠山美里・村本朱織(広島県)、秋山未空(鳥取県)、伊藤華蓮(島根県)、
清水未咲(岡山県)、河村南(山口県)
指導者 田中よしこ・竹下聖・加藤恭子・森近和代・米村真由美(オブザーバー)
前田拓哉委員長・江角直樹 RDO 敬称略
内 容 8 人制サッカー1人審判法による実技研修(ガールズエイトの試合を使用)

1 日目の様子 3/4(土)



試合風景



試合後の振り返り





審判研修風景



2日目の様子 3/5(日)



試合風景



プラクティカルトレーニング



参加審判員の感想

☆主審の経験も少ない中、1人審判という貴重な経験をすることができて楽しかったです。失敗もありましたが、それよりも学ぶことの方が多く、特に動き出しの大切さや動き方、スピードの緩急について学ぶことができたと思います。

☆この研修を通して私は、審判員はただ判定をするのではなく、試合の意図や目的を理解した上で試合をコントロールしていかないといけないと分かりました。今大会は小学生であったため、私は選手といつも以上にコミュニケーションをとりサッカーを少しでも楽しいと感じてもらいたいと思いながら審判をしました。1日の参加でしたが、たくさんのことを学ぶことができ濃い時間を過ごせました。ありがとうございました。

☆インストラクターの方から丁寧なフィードバックを受けることができ、大変勉強になりました。ありがとうございました。

☆前回のガールズ・エイトよりも自信を持ってレフリーができたのでとても良かったです。インストラクターの方々にたくさんの褒め言葉を頂いたのが嬉しかったし、もっと頑張りたいと思うことが出来ました。自分のいい所を見つけることが出来たので今後も続けていきたいです。来年も是非大会に参加させてもらいたいし、今回よりも成長した姿を見せられるようにこれからも頑張りたいです。

まとめ

今年度より JFA ガールズ・エイト U-12 トレセンプログラムという育成事業の中で、各県帯同審判員を派遣していただき審判研修を行いました。今回の取り組みの一つである「サッカーを楽しむ」という趣旨の元、審判団としても選手の意図を理解し、正しい判定をするために必要なことを考えながら選手と一緒にボールを追いかけてきました。普段指導されることのないインストラクターからの助言もあり、1試合ごとに間違えるような動きが見られたことがこの研修の収穫だったと思います。これからは審判の魅力を伝えながら、生涯サッカーに携わってくれる取り組みを今後も続けていきたいです。この研修に際し、ご尽力いただきました4種関係者の皆様、各県審判委員会の皆様に感謝申し上げます。

